

平成 28 年 8 月 3 日

各 位

会社名 アミタホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 熊野英介
 (コード番号: 2195 東証 JASDAQ)
 問合せ先責任者 取締役 清水太朗
 TEL (03) 5215-7766

営業外費用（為替差損）の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 28 年 12 月期第 2 四半期において営業外費用（為替差損）を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 2 月 12 日に公表した平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の第 2 四半期累計期間の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の内容

昨今の為替相場の変動により、平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）において為替差損 55 百万円を計上しました。

2. 業績予想数値の修正

平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結累計業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,397	百万円 △49	百万円 △63	百万円 △72	円 銭 △62.24
今回修正予想 (B)	2,256	△25	△91	△100	△85.79
増減額 (B-A)	△140	24	△28	△27	
増減率 (%)	△5.9	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	2,239	△60	△62	△148	△127.16

3. 業績予想数値修正の理由

第 2 四半期連結累計期間については、売上高は、北九州循環資源製造所の取扱量の増加はあるものの、有価物取引等のスポット案件の完了が下半期となったことや台湾循環資源製造所において製品を適正に備蓄し出荷を下半期からとしたこと等により当初業績予想を下回る見込みとなりました。営業損失につきましては、売上高の減少に伴う仕入高の減少や棚卸資産増加による製造原価の減少等により当初予想を上回る見込みとなりました。経常損失並びに四半期純損失につきましては、営業損失の改善はあるものの、為替差損の計上等により当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想値につきましては、台湾関連事業の収益貢献やスポット案件受注見込等の影響により、公表した通期の業績予想値に変更はございません。

(注) 上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上